

全世代型健康増進拠点構築計画に係る質問および確認事項

令和7年7月8日に説明を受けた「全世代型健康増進拠点構築計画」について、議会として以下の項目について確認及び質問いたします。執行部におかれましては、現状の考えや今後の方針等について、文書にてご回答いただくようお願い申し上げます。

- (1) 現在の町の方針である多世代交流棟の1／4規模程度への温浴施設建替えについて、各議員で周辺住民への聞き取りを行ったところ、全くもって本件に関することを知り得ていなかった。町内全域においても同じ状況と考えられ、パブコメや広報紙等に掲載はされているものの周知不足感が否めない。町内唯一の公的温浴施設であり、町のシンボルでもあるため、町民の関心は非常に高い。

したがって、広く町民の声や意見に耳を傾け、可能な限り町の方針へ反映させるため、基本設計後ではなく、基本設計に入る前に少なくとも校区别説明会等を開催することで、施設規模や現施設の休館期間など構想の概要を丁寧に説明し、町民の疑問や不安の払拭に努める必要がある。

一番肝心の住民説明を省略した9月定例会での基本設計委託料の補正予算への計上は、あまりにも拙速であり住民代表としての判断が出来兼ねる状況も考えられるため、スケジュールの再考を求める。

- (2) 基本設計では、12月から住民説明会(対話型)の開催を予定されており、9月議会補正後となるが、その理由は。

- (3) 令和7年7月8日の全員協議会において、提示された資料(全世代型健康増進拠点構築計画の推進について)は、議員や議会として町民説明のための資料として提示公表してよいか。

- (4) 別紙(健康増進拠点構築工程表)では、基本設計予算を9月議会補正予算と記載されているが、追加で全員協議会への事前説明は考えているのか。



- (5) 全世代型健康増進拠点施設の付帯施設として、多世代交流棟の1／4程度の温浴施設の整備を構築計画の柱に据えてあるが、あえて町が税金を使ってまで、新しく温浴施設を作る必要があるのか、議会や庁舎内部協議も含めもっと議論する必要があるのではないかな。
- (6) 全世代型の健康増進を図るという目標は素晴らしいが、その目標を達成するために何が必要で、どういう施設整備を進める必要があるのか。巨額の投資も見込まれるため、アクアス一帯の構想として、誰が見ても納得ができ、町の内外に強力にアピールできるベストな施設整備を目指すべきで、そのための構想づくりが欠けているのではないかな。
- (7) 学校施設プールは小学校全てで築60年以上、中学校築53年で既に更新時期を迎えている。議会では以前から学校施設プールを一つにまとめて屋内プールをとという住民意見を集約し提言を行ってきた。学校プールをどうするのが構築計画に影響を与えとも考えられるため、その方針を先に示す必要があるのではないかな。

本確認事項に関し、速やかに文書での回答をお願いいたします。

なお、本件については今後の継続的な議論のため、町民への説明責任の観点からも、議会として真摯に協議に向き合い、お互いの理解促進につとめ、もって整備される施設等が多くの住民の皆様に永く愛される施設となるよう全員協議会等の協議の場を積極的に設けていきますのでご協力をお願い致します。

令和7年7月28日

大木町長 広松 栄治 殿

大木町議会 議長 古賀 知文

